



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者 齋藤 庄司
編集者 中堤 聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2009.9.10 第1413号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを 皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。 加入ってます」

地本組織拡大会議

▽一年間で29人が国労加入(東日本本部)△

一歩一歩確実な取り組みを

地方本部は、九月六日・七日に「第三回組織拡大対策会議」(三七人参加)を開催した。国労東日本においては「一括和解以降」、六二名の国労復帰・加入を勝ち取ることができている。八月三〇日の選挙結果では、自民党・公明党が大きく後退する一方で民主党が三〇八議席を獲得し、社民党・国民新党との連立政権が誕生しようとするなど政治解決を巡る環境が大きく変化した。この情勢を活かし、機会を逃がさずとなく、全ての職場・組合員が一丸となって組織拡大に取り組んでいくことを意思統一した。

当日は、東日本本部から伊藤秀樹委員長・木村忠義青年対策部長・長野地方本部から佐藤正幸書記長・吉澤英夫組織部長・一八歳で国労加入した新津雄太さんが参加した。

「国労の仲間を信頼している」

長野の新津雄太君(19歳)も参加



分散会に参加し想いを話す新津君(写真左から二人目)

座長の齋藤委員長は、「三三三」ことになった。青森で組織拡大の組織拡大会議を迎える。大を勝ち取るなど、職場の雰囲気は変わりつつある。機を逃すことなく、拡大に結び付けよう。一〇四七名不採用問題は最終局面を迎えており、組合員一人ひとりの力で本部を支えていかなければならない」と訴えた。

続いて、伊藤東日本本部委員長が「国労運動の展望と課題」と題して講演し、「多くの仲間が国労に残ったのは仲間の信頼・絆が強かったから。国労はこの間、職場での議論を大事にしてきた。その延長線上にある『安全・仕事総点検運動』を進める中から、鉄道マンとしての気概を持つためにも、会社としっかり向き合っていくことが重要。この一年間で二九名の拡大を勝ち取ってきた。①分会執行委員会の定例化②職場集会等での意思統一③機関紙等での宣伝を強め、自分たちの運動に自信と確信を」と述べた。

経路交流として木村東日本本部青年対策部長は「拡大は現場の組合員が全員で取り組まなければできない。積極的な声掛けを」とし、新津さんからは「国労の仲間を信頼している。これからも国労組合員として頑張っていきたい」と決意が述べられた。また、長野地方本部の野吉澤組織部長は新津さんの国労加入の経緯を説明しながら「組織拡大では情報管理が重要であると同時に、積極的な取り組みが求められている」とした。

分散会提起として菊池組織部長が「七月の長野地方本部との交流会を機に三名に求めたい。自分たちの足元を見つめなおし、何ができるのかをすすべることを考え、分会・職場でできることを議論してほしい。同時に、職場・分会で組合員が集まる場作り」と訴えた。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

最後に、佐々木書記長が「現状維持に甘んじることなく、国労運動という財産を次世代へ伝えていくことが私たちの任務であり、責務である。JR会社に責任を持つという意味でも、国労が主体とならなければならない。そのために分かれて議論に入った。分散会報告では、①日常的な会話はできるものの、国労加入の話までは出し切れない②過去の国労差別が頭の中にある、なかなか声をかけられない③職場に新規採用者がいないため、接点作り切れない④したたかに、粘り強く他労組組合員とつながりを持つていこう⑤拡大には家族会の力も大きい。分会における家族を含めた団結作りを⑥組織拡大を勝ち取るんだという組合員一人ひとりの気持ちが大仕事⑦組織拡大は、個人任せではなく、職場・分会で組織的に取り組むことが重要⑧モデル分会をピックアップし、支部・地本でサポートして取り組んでどうか⑨職場の問題を分会執行委員会で議論し、一歩一歩確実に取り組んでいくことが大事、などの声が報告された。

第12回執行闘争委員会
10月17日(青森)
並行在来線の維持・存続を考える青森県集会
10月9日(永祥院・盛岡)
平成21年度殉職者慰霊法要
10月18・19日(栗石)
第65回定期地方大会

当面の主な日程
9月16日(盛岡)
第22回地本運輸協議会定期委員会
9月23・24日(さいたま)
第23回東日本本部定期大会
10月1・2日(盛岡)
第65回定期地方大会

お知らせ
◎地本機関紙コンクール応募作品募集中
<応募資格> 各級機関で発行する機関紙
<応募方法> 2008年7月1日~2009年8月末実までの間に発行した機関紙の中から3回分を各3部添え、応募表に必要事項を記入し応募のこと。
<応募締切> 2009年9月30日(水)
<審査> 地方本部教宣部
<表彰> 最優秀賞1作品、優秀賞1作品、佳作若干とし、第65回定期大会(10月)で表彰予定。

◎奈良岡克也青森県議ホームページ開設
<アドレス>
http://homepage3.nifty.com/naraoka-katuya/

13人の参加で有意義な一日
『国労盛岡支部家族会も6人参加』
九月六日、平和環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

最初に、「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

「公共交通をめぐ」環境若手労働組合センター家族会連絡協議会主催の「第七回学習交流会」が若手労働福祉会館(盛岡市)で開かれました。県交通、岩教組、高教組、国労の各組合から一三人の参加がありました。国労からは、盛岡支部家族会の星敦子会長を含め六人が参加しました。

ソフトボールで流した汗 懇親会で補充をと乾杯

盛岡・北上駅連／一関運輸3分会交流会

八月二十六日(火)快晴、三分会交流会を歓迎しているかのような北上の空、一関運輸・気仙沼地域・北上駅連合・盛岡駅連合の七五人の参加者が続々と北上展勝地グラウンドに結集しました。

開会式を前にホームベース前で記念撮影。今年の主催分会、盛岡駅連合・館洞書記長の司会でソフトボール交流会の開会式が始まり、同・折戸分会長から、「今年も三分会交流会が開催できたことは、

各分会の皆様のご協力があったからです。また、衆院選の勝利に向け一致協力し頑張りましょう。決して怪我の無いようにプレーしてください」との挨拶を受け、ソフトボール交流会がプレイボール。

第一試合は、一関運輸・気仙沼対北上駅連、五対一で北上駅連が一勝。第二試合は、一関運輸・気仙沼対盛岡駅連、七対四で一関・気仙沼が勝ち一勝一敗。第三試合は、一敗の盛岡駅連対一勝の北上駅連、盛岡駅連が三対〇で勝ち三チームが一勝一敗で並び、勝ち点の多いチームが優勝とのルールで、八得点の一関・気仙沼分会チームの優勝。ハッスルプレー、空振り転倒、綺麗なダブルプレーありと、三試合を楽しみながらのソフトボール交流は一人の怪我も無く終



試合前に全員揃っての記念撮影

了できました。懇親会は会場を志戸平温泉に移し交流会の本番、ソフトボールで流した汗を温泉できれいに洗い流し、集合写真撮影、優勝の一関運輸・気仙沼地域分会に折戸分会長から優勝トロフィーと副賞を贈り、「午前中のソフトボール参加の御礼。衆院選勝利に向けみんな頑張ります。来年は若い仲間をこの場で紹介できるようにしたい」との挨拶。参加分会代表、盛岡支部佐々木委員長の挨拶と続き、流した汗の補充をと乾杯で懇親会



国労から参加した左から高橋・米倉さん(広島平和公園)

に突入、大いに盛り上がるも、こういう時間は早く過ぎるもので、バスの発車時刻となり、団結頑張ろうと締めくくりに、

来年の主催分会を北上駅連にバトンタッチ終了しました。盛岡駅連合分会 畠山 芳雄

反戦・平和・護憲の訴え

8・15街宣行動(憲法擁護手唄連盟)

六四回目を迎えた「敗戦記念日」の八月十五日、憲法擁護手唄連盟による憲法改悪阻止街頭宣伝行動が取り組ま

れた。議長伊沢昌弘社民党県連合幹事長をはじめ、社民党盛岡市議員、県労組センタ

ー内労組、市民グループ代表の二人で取り生まれ、国労からは菊池組織部長が参加。盛岡駅前にて細川光正社民

党県連合副代表、伊沢議長がそれぞれ「反戦・平和」「平和憲法擁護」を訴えた後、一行は「中央コース」「北コース」に分かれて、盛岡市内一円を街頭宣伝して回った。

国民投票法が来年度施行される等、憲法改悪に向けた流れは確実に強まっている。一方で、憲法第九条が持つ平和への理念の評価も改めて高まっている。反戦・平和の誓いを新たに、運動を強めよう。

「被爆64周年原水爆禁止広島世界大会」

核廃絶へ鎮魂の日ヒロシマ

私は、今回二度目の原水爆禁止大会広島に青森県から一人の共闘仲間と共に参加してきました。八戸からは、工務分会の米倉勝則地区協議長が平和労組三八地区会議の代表として参加しました。八月四日から六日までの期

間、平和行進・核廃絶二〇〇九平和広島大会・分科会(広島入門)・原爆資料館見学・平和式典・まとめ集会に参加し、原爆の恐ろしさ、核兵器廃絶と世界平和への思いを強めました。

原爆投下で人々は熱線に焼かれ、爆風で建物もろともなぎ倒された。水を求め、川の中で折り重なるように息絶えた。放射線は遺子を傷つけ、六四年経った今なお被爆者を苦しめている。利用したタクシー運転手も体内被爆者で「体調不良や健康不安を抱えてきた」など、被爆者や被爆二世からの証言も強く心を打ちました。

「核兵器を使った唯一の国として米国は行動する道義的責任がある」。オバマ大統領がチェコのプラハで行った演説は画期的で、核の軍縮から廃絶への機運が高まったが、現実は大変厳しい課題を抱えている。被爆国としての日本

は、依然アメリカの核の傘で守られ、第二次世界大戦の歴史認識、補償など政府としての対応が問われています。元原爆資料館館長から「八月六日は、特別の日、見て聞いて感じて周りに広めてほしい」と訴えがありました。早朝から平和公園で祈りを捧げる市民、平和式典に参加の市民や外国人、職場や学校単位で慰霊式を行う人々など、鎮魂の日を迎えていました。地元紙も特報を発行し平和式典の様子を伝えていました。世代を超えて受け継がれているヒロシマの魂と核廃絶への強い思いを感じました。最後に、世界平和なくして核兵器廃絶も実現しません。戦争には良い戦争など存在せず、殺すか殺されるかです。多くの組合員が、原水爆世界大会に参加し、地域で平和や憲法を守る行動などに積極的に参加しました。高橋 清光

八月二日・三日、静岡県伊東市で「第七七回定期全国大会」が開催された。第四五回衆議院議員選挙が戦われている最中、「総選挙闘争勝利の総決起の場」とし、一〇四七名問題の早期解決と国民的課題である「安全で安心して暮らせる社会」「平和で豊かな福祉社会」の実現に向け、労働組合としての「責任」と「使命」を再確認する大会でもありました。

高橋中央執行委員長の挨拶をはじめ、多くの来賓から衆議院議員選挙の意義と

がされました。経過討論では五人が発言。組織拡大の取り組みと成果、課題がいわれる一方で、地方本部からは阿部一久代議員

が発言。多くが衆議院議員選挙後の不採用問題の早期解決に向けた運動のあり方について触れ、地方本部からは菊池要悦代議員(盛岡駅連合分会)

全国大会

1047名問題の早期解決に全力

◇代議員 鈴木 孝夫(一関運輸分会)◇

「八戸運輸分会」が来年一月延開業予定の新幹線問題について現状と国労としての交通政策実現に向けた本部の努力を要請。方針討論では代表討論三人を含め計二九人が

が不採用問題の早期解決に向けた地方の取り組みと「四者・四団体」の更なる意思統一と連携強化、それを機軸にした運動作りを本部に求めました。整然かつ肅々と議論が行わ

れ、文字通り国労として総団結・総決起の大会になったと感じています。鉄建公団訴訟の最高裁判決が年内に出されるとも言われる中で、解決は

衆議院議員選挙後の政治メッセージを受け止めた闘いの構築。健全かつ正常な労働関係を確立」などの集約を全体で確認し、高橋委員長以下執行部を選出して終了しました。

「核兵器を使った唯一の国として米国は行動する道義的責任がある」。オバマ大統領がチェコのプラハで行った演説は画期的で、核の軍縮から廃絶への機運が高まったが、現実は大変厳しい課題を抱えている。被爆国としての日本

は、依然アメリカの核の傘で守られ、第二次世界大戦の歴史認識、補償など政府としての対応が問われています。元原爆資料館館長から「八月六日は、特別の日、見て聞いて感じて周りに広めてほしい」と訴えがありました。早朝から平和公園で祈りを捧げる市民、平和式典に参加の市民や外国人、職場や学校単位で慰霊式を行う人々など、鎮魂の日を迎えていました。地元紙も特報を発行し平和式典の様子を伝えていました。世代を超えて受け継がれているヒロシマの魂と核廃絶への強い思いを感じました。最後に、世界平和なくして核兵器廃絶も実現しません。戦争には良い戦争など存在せず、殺すか殺されるかです。多くの組合員が、原水爆世界大会に参加し、地域で平和や憲法を守る行動などに積極的に参加しました。高橋 清光

「がん」の生涯保障(アフラックのがん保険 ゴ(フォルテ)) 保険期間: 終身・契約年齢: 0歳~80歳 バリュープランS 2倍

初めて診断確定されたとき 診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金40万円 一時金4万円
がんが診断確定されたあと生存しているとき ライフサポート年金(上皮内新生物は対象外)	がん診断後、2年目から5年目まで	年金20万円×4年間 *生存している場合
入院したとき 入院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき 手術給付金	1回につき	20万円
5日以上の継続入院後通院したとき 通院給付金	1日につき	10,000円
特定のがん治療で通院したとき 特定治療通院給付金(上皮内新生物は対象外)	1日につき	10,000円
先進医療を受けたとき がん先進医療給付金	技術料1回につき(1年間に5回まで、通算支払限度額700万円まで) 下記①~④以外の先進医療 実費/上限50万円	①固形がんに対する重粒子線治療 実費/上限320万円 ②悪性腫瘍に対する粒子線治療(*1) 実費/上限290万円 ③脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(*2) 実費/上限210万円 ④HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(*3) 実費/上限130万円
先進医療を受けたとき がん先進医療一時金	1回につき	15万円(1年間に1回まで)
がんが死亡したとき 死亡保険金		10万円

(*)1) 固形がんに係るものに限る。(*)2) 原発性脊椎腫瘍または転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。(*)3) HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のみに係るものに限る。先進医療の給付金・一時金のご契約には、限度があります。その他、アフラックの基準により限度額を定めています。

プレミアムサポート※ 訪問面談サポートと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)

※トータルケアプランS、バリュープランS2倍以上のプランにご契約の場合にご利用いただけます。

AF104-2008-0106 4月18日

◆月払保険料(団体取扱)保険料払込期間: 終身 がん保険フォルテ: バリュープランS 2倍 入院日額1万円

35歳	45歳	55歳	65歳
3,038円	4,222円	5,810円	7,952円

(2008年4月1日現在)

*ご健康状態などによっては、お申し込みをお引受けできない場合があります。◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

■事務上の問い合わせ先 盛岡国労会館 ☎019-652-4841 ☎019-651-7720 JR ☎033-2276 JR ☎033-2277 〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通4-4

■募集代理店 アベニール株式会社 ☎03-3437-6810 ☎03-3437-6822 〒105-0004 港区新橋5-15-5交通ビル3F

■引受保険会社 Aflac 系列法人第五支社 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95